

自然情報誌

# ネットワーク梵珠

Vol-31 No.12

発行/青森県立自然ふれあいセンター (第364号)

〒038-1301 青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1

TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510

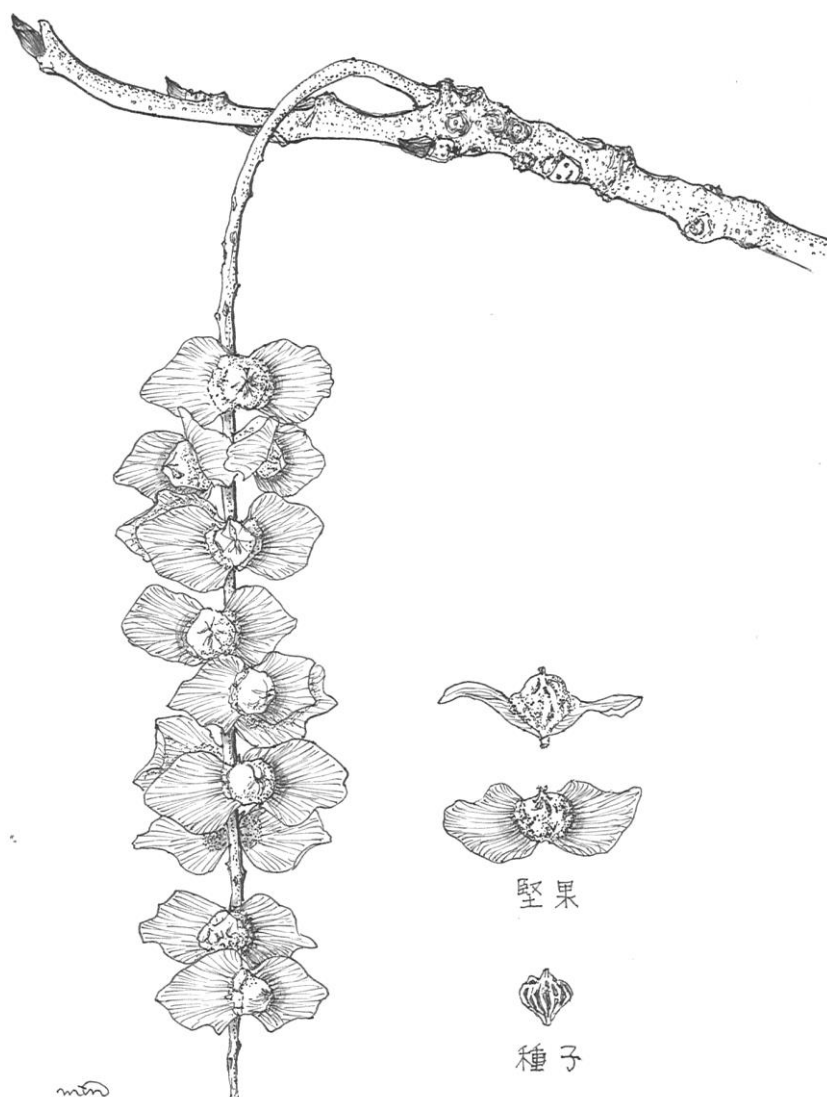
URL <http://www.bonjyu-furesen.info> メールアドレス [bonjyu@jomon.ne.jp](mailto:bonjyu@jomon.ne.jp)

2022.12.15

## ～長くたれ下がる実～

サワグルミ (クルミ科) 沢胡桃

北海道南部から九州の各地に分布する落葉高木。  
谷川のほとりや沢沿いに生えるため、サワグルミと名付けられた。4～6月に開花し、雌花花序(花の集まり)は、20 cmほどの長さにたれ下がり、その後果実が茶色に熟す。クルミの仲間だが食用にはならない。別名 カワグルミ、フジグルミ



# 梵珠山自然観察・発見ノート

梵珠山の自然情報！ ○開花 △蕾<sup>つぼみ</sup> ×実 (11月中旬～12月中旬)

## 植 物

木 本 ×ホオノキ×カンボク×ナナカマド×ムラサキシキブ×コマユミ×ズミ×ツルシキミ×  
ヒメアオキ×エゾユズリハ×アクシバ×イチイ×ノブドウ

草 本 ○セイタカアワダチソウ○メマツヨイグサ○ナガハシスミレ×ツルリンドウ×コウライ  
テンナンショウ×ユキザサ×オオウバユリ

## コケ類

木につくコケ・・・オオギボウシゴケモドキ・ヤマトヒラゴケ・クサゴケ・オオトラノオゴケ・  
ネズミノオゴケ・ヒナイトゴケ・ハミズゴケ・アオギヌゴケ

土に生えるコケ・・・フロウソウ・ハイゴケ・トヤマシノブゴケ・ウマスギゴケ・エソスナゴケ・  
マツタケジャゴケ・タマゴケ

コンクリート・・・ホソバギボウシゴケ

## シダ類

コタニワタリ・シシガシラ・トクサ・ホソバトウゲシバ・リョウメンシダ・ミヤマイト  
ダチシダ・オシダ・クジャクシダ・サカゲイノデ・ゼンマイ・ホソバナライシダ・ミ  
ゾシダ・ミヤマシケシダ・ミヤマベニシダ・ウラボ

## 野 鳥

オオタカ・クマタカ・アカゲラ・コゲラ・ヒヨドリ・エナガ・コガラ・シジュウカラ・  
ヤマガラ・コガラ・カケス・ウソ・ハシブトガラス

## 哺乳類

タヌキ 1 頭 (11/16 市道) リス 1 頭 (11/17 市道) キクガシラコウモリ 3 頭 (バ  
ットハウス 11/11) キクガシラコウモリ 1 頭 (11/17 寺屋敷トイレ) リス 1 頭  
(11/23 ヒョウタン池)

## 昆 虫

ルリタテハ・アキアカネ・ツマジロカメムシ・スコットカメムシ・クサギカメムシ・  
ツノヘリカメムシ・アカマダラヒメツノカメムシ・フユシヤクガ・コバネイナゴ・コ  
バネフキバッタ・カメノコテントウ・ナミテントウ・アシブトコバチ・ヤニサシガメ  
(幼虫)

## 両生類

ヤマアカガエル

※旬の自然情報については気軽にスタッフにお尋ねください。

### 7十の実調査結果 (10/1~31)

今秋のブナの実落下数は、15266  
個。調査開始から 31 年間で、最も  
多い大豊作となりました。

## 【梵珠山周辺の自然】

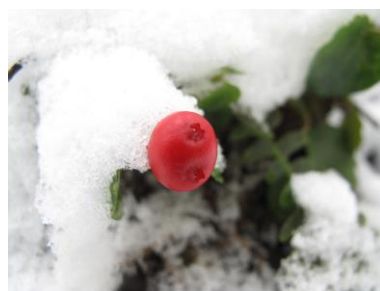
華やかな季節も終わり、いよいよ冬本番を迎える時期になりました。低木等の植物はすで  
に雪に覆われ、オオウバユリやエゾアジサイがまだ秋の姿のまま残されています。わずかに  
実を残しているもの、春に花を咲かせる準備をしているものなど、観察していると意外に多  
くの発見があります。11月中旬には季節外れのナガハシスミレが開花していました。



ナガハシスミレ (花) 11/15



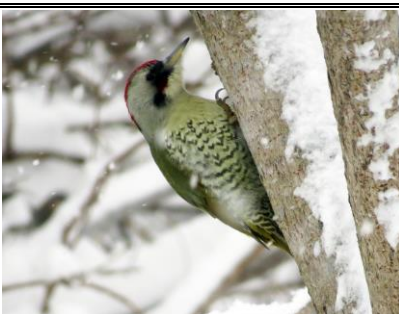
エゾユズリハ (実) 11/15



ツルアリドウシ (実) 12/7



リス 11/23



アオゲラ 12/4



ヤマガラ 12/10

**梵珠山で見られるシダ植物**



**オシダ**・・・林下に大きな葉を広げ群生する大型のシダ。鱗片は黄褐色で葉柄に密生。



**サカゲイノデ**・・・ブナ林の林下に生息する。葉柄上部と中軸裏側の鱗片は広卵形、薄褐色で下向きに軸に圧着する。秋には葉が枯れる。



**ホソバトウゲシバ**・・・小さな葉は放射状に開き、葉の縁にわずかに鋸歯がみられる。胞子のうは葉の基部にあり二枚貝状。常緑性でムカゴでふえる。



**ホソバナライシバ**・・・林下に生育する夏緑性のシダ。葉柄は下部を除いて淡緑色。鱗片は葉柄で多く中軸や羽軸上ではまばら。リュウメンシダに似る。



**ミソシダ**・・・やや湿った林下に普通に見られるか夏緑性のシダ。葉柄、葉軸に毛が密生。胞子のうは脈に沿ってつき胞膜はない。



**ミヤマイトチシダ**・・・最下小羽片は下向き、小羽片が長い。葉柄には暗褐色で膜質の鱗片が多い。胞子をつける葉では羽片間隔が広く胞子は葉の上部につく。



**ミヤマベニシダ**・・・やや湿った林床に生える大型のシダ。鱗片は鋸歯縁で鋸歯の先は鋭くとがる。胞子嚢群は葉の上半分ぐらいにつく。



**リュウメンシダ**・・・若い葉の両面は同じ色、形に見える。最下羽小羽片の下方が長い。胞子嚢群は秋から冬にかけて熟す。



**ワラビ**・・・春の新芽は山菜としてよく利用される。最下羽片小羽片上下ほぼ同じ長さ。葉は2～3回羽状。小羽片の先はあまり分裂しない。秋には枯れる。

・9月～12月までのネットワークで、22種のシダを紹介しましたが、梵珠山にはこの他にもまだ数十種類のシダを観察することができます。花の咲かない地味な植物ですが、少しでもシダ植物を身近に感じていただけたらと思います。

# 11月の日曜観察会

開催日(11月20日:晴)

○講師 齋藤信夫さん「まだ見られる植物は何？」



○講師 澤田 満さん「コケ植物の観察」



○講師 針生倭吉さん「晩秋の森で会いましょう」



○講師 市田忠夫さん「越冬準備の昆虫」



## サポーターズ隊活動



・今年最後の活動は、市道の落葉清掃でした。参加者7名スタッフ4名、計11名での活動となり、それぞれ雪ペラや手箒を使って約500mの市道の落ち葉の清掃に励みました。

## お知らせコーナー

### これからの行事

\*1月15日(日)「日曜観察会⑩」講師は、針生倭吉さん(野鳥)間山良治さん(動物)です。

\*1月22日(日)「少年自然探検隊(冬)in 梵珠山」

\*2月5日(日)「梵珠山雪下ろしツアー」・カンジキやスノーシューで施設の雪下ろし体験をしながら雪山を歩きます。

### センターより

\*センターでは第一駐車場の法面工事を行っていますが、雪等でこれまで以上に駐車場が狭くなります。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

\*令和4年12月1日(木)～令和5年4月20日(木)におけるキャンプ場でのキャンプの利用は中止といたします。

\*凍結防止の為、寺屋敷トイレ・キャンプ場トイレを閉鎖しました。

\*センターではカンジキを無料で貸し出ししています。

\*令和4年12月28日(水)～令和5年1月4日(水)まで閉館となります。

